

令和5年度広島県連合小学校長会研究主題

研究主題：「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る

日本人の育成を目指す小学校教育の推進」

副主題：一夢や志をもち 他者と協働して

主体的に新たな価値を創り出す子どもを育成する学校経営一

【趣 旨】

近年、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新、さらには、相次ぐ自然災害の発生、新型コロナウイルス感染症の影響等により、社会構造や雇用環境は大きく、また急速に変化しており、予測が困難な時代となっている。このような先行き不透明な社会においては、多様な他者への理解を深め、様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め知識の概念的な理解を実現し情報を再構成するなどして新たな価値につなげ、複雑な状況変化の中で目的を再構築することができる人材が必要とされている。

学校教育においては、新学習指導要領が全面実施となり3年が経過し、「学校における働き方改革」や「GIGA スクール構想」という極めて重要な取組も進められている等、新たな時代に向けた大きな転換期の渦中にある。その中で、「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る」日本人の育成に当たっては、一人一人の子供が夢や志をもち、自分のよさや可能性を認識するとともに、多様な他者と尊重し合い、互いに協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となる資質・能力を身に付けられるようにすることが重要である。

広島県では、広島県総合計画「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」「広島県 教育に関する大綱」「広島版『学びの変革』アクション・プラン」に基づき、子供たちが自らの夢や志に向けて挑戦し学び続けられるよう、地域等の多様な人々と協働し現実社会における課題の解決策を創造する主体的な学習活動を位置付けるなどの取組を展開することを通して「広島で学んで良かったと思える 広島で学んでみたいと思われる 日本一の教育県の実現」を目指している。

広島県連合小学校長会は、こうした時代と社会の要請に鑑みて、これからの教育の在り方について先進的な知見を校長自ら求めるとともに、リーダーシップを発揮し、県民の負託に応える教育の推進に取り組むことを決意した。

そのため、本年度も引き続き、次の視点をもとに取り組むこととした。

- 1 「知・徳・体」のバランスのとれた基礎・基本の確実な定着と「学びの変革」の充実を図る。
 - 基礎・基本を確実に身に付け、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決することができる「確かな学力」を育成する。
 - 自らを律し、他人を思いやり、自然を愛し、伝統文化や社会規範を尊重し、郷土や国を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与しようとする「豊かな心」を育成する。
 - 健康、安全への自己管理能力を高め、主体的に自らの健康や体力の増進を図ろうとする実践的態度を通して「健やかな体」を育成する。
- 2 教職員一人一人の力を発揮できる環境の整備と学校及び教職員への信頼の確立を図る。
 - 教育に携わる者としての確かな力量と総合的な人間力を高めるための研修の充実を図る。
 - 積極的に情報発信をしながら、地域と一体となって子供を守り、育てる環境をつくる。

以上のことを踏まえ、自分の夢や目標をしっかりと確立し、それを達成するために他者と協働して創意工夫し、常に挑戦し続けることで、これからの社会をよりよく生きることのできる資質・能力を育むための小学校教育の在り方と、社会に開かれ、特色のある教育活動を展開する校長の役割と指導性を究明しようとするものである。